

第14回熊野川の総合的な治水対策協議会 猿谷ダムの堆砂状況と対応策について

国土交通省 近畿地方整備局
紀の川ダム統合管理事務所
平成29年11月22日

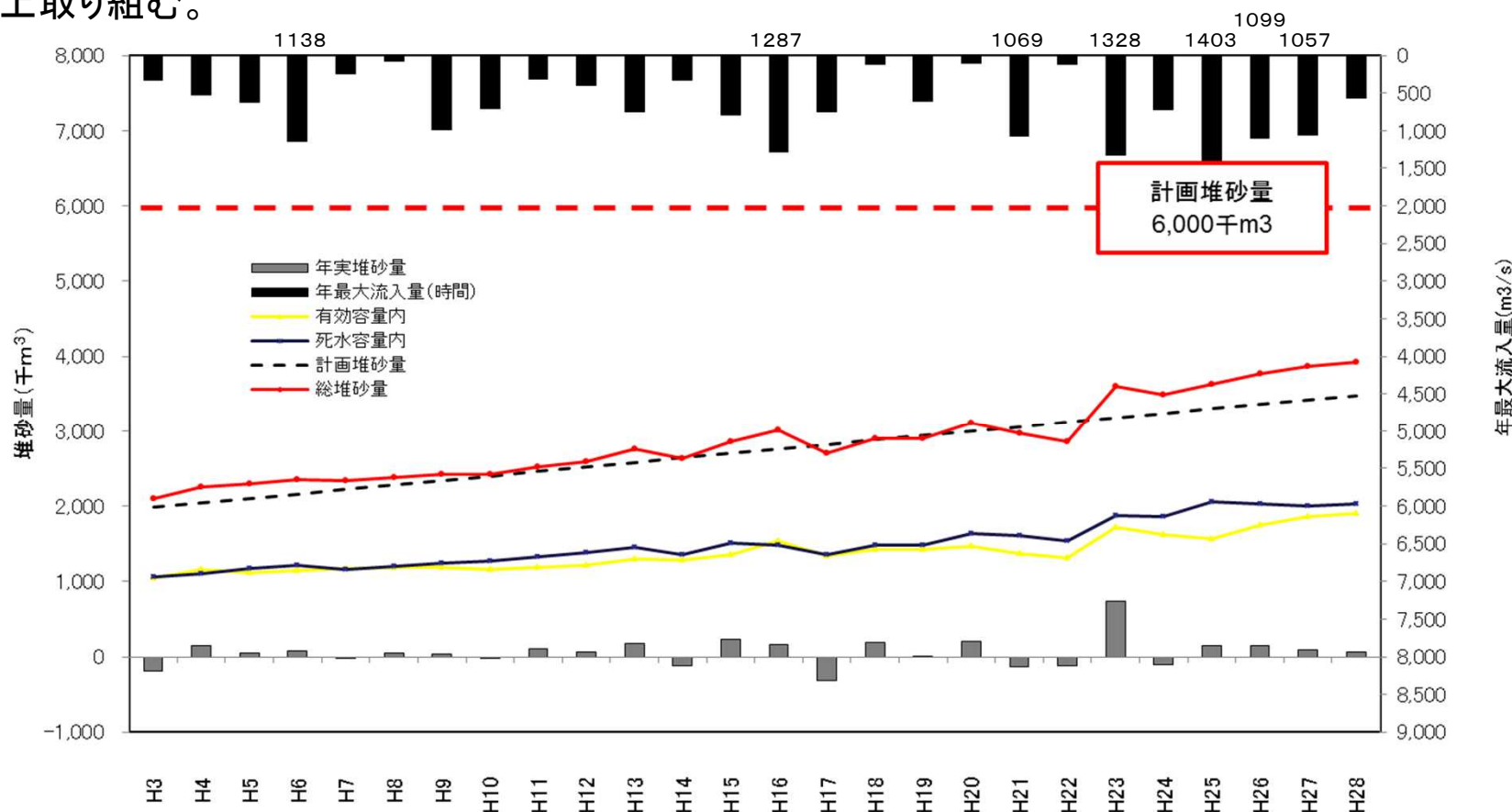
猿谷ダムの堆砂状況と対応策について

●平成28年度末時点の堆砂状況

昭和33年から管理を開始。現在、総堆砂量は3,928千m³、計画堆砂率は59%であるが、平成28年度末時点の堆砂率は65.5%となっている。現在のところ、概ね計画どおりの堆砂率と見ているが、平成23年度以降は、計画堆砂率を多少上回っている状況である。

●堆積土砂対策

平成28年度は阪本取水口上流付近で約1,300m³の堆積土砂掘削を実施。平成29年度も引き続き堆積土砂掘削を実施する予定。なお、施工時の濁水発生については十分配慮し、関係機関と協議の上取り組む。



【参考】掘削箇所付近の状況



- ・平成28年度に阪本取水口上流右岸地点にて約1,300m³堆積土砂を掘削。
- ・今年度は、貯砂ダム上流の堆積土砂掘削を実施予定。

掘削状況



撮影日：平成29年2月27日 貯水位 約421.3m